

子どもたちの環境・ エネルギー教育のために

11月1日、東北電力(株)東通原子力発電所(金澤定男所長)から、東通小・中学校を対象とした教育副教材が寄贈されました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書などの環境やエネルギーに関する多くの副教材を寄贈しています。35回となった今回は、実験器具やDVD教材など計26点を寄贈いただきました。

今回の実験器具などを含め、これまで寄贈いただきました副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。



原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが閣議決定し、制定されました。

地域社会に感謝のこころを

10月18日、青森銀行従業員組合より、地域貢献運動「ありがとう運動」の一環として、東通村小学校に学校図書計56冊(約10万円相当)が寄贈されました。

役場応接室において、青森銀行従業員組合執行委員長の阿部幹生氏より「学校教育に役立ててください」と、奥島涼子教育長に目録が手渡されました。

「ありがとう運動」は、昭和55年の青森銀行従業員組合15周年を契機に、「地域社会に感謝のこころを」をスローガンに実施されている運動です。ベルマーク、使用済み記念切手や使用済みプリペイドカードなどの収集、夏の年2回行う「ありがとう募金」の2つの運動を中心に活動し、植樹運動なども行ってきました。

今回の学校図書の寄贈活動は平成22年から10年計画で全市町村に寄贈を行う予定とのことです。寄贈された図書は、東通小学校の児童の教育に活用させていただきます。

林道目名砂子又線通行止めのお知らせ

林道目名砂子又線(目名～砂子又)は、台風の影響により現在通行止めとなっておりますが、冬期間の間も通行止めを継続しております。ご不便をおかけしますが、村民の皆様のご協力をお願い致します。

◇お問い合わせ先
つくり育てる農林水産課
☎ 27-2111 (内線131)

通行止め区間

村道目名砂子又(7.436km)

